

平成29年度村政懇談会 地区自治会質問内容

村松地区自治会

<p>質問事項 (題 目)</p>	<p>村松地区の国道245号線拡幅を含めた将来計画について</p>
<p>質問要旨 (内 容)</p>	<p>①高齢化が進んでいる地区への対応策と将来像 ②照沼小児童の減少化への対策と将来像 ③245号拡幅計画を始め様々な計画があるが、その方向性 ④その他</p>
<p>回答</p>	<p>(企画経営課) ①・③ 村では、国道245号の拡幅と、国体ホッケー競技会場である阿漕ヶ浦公園の再整備を契機とし、阿漕ヶ浦公園から動燃通りまでの国道245号周辺における地域の活性化に向けて、地域の住民や商工会、観光協会といった関係機関の方々とともに、どのような取組みを進めていくとよいか、協議を進めているところです。 具体的な取組みについてはまだ決まっておりませんが、「自然」や「歴史」、「科学」といった地域資源を活用し、地区内外・村内外の交流による「にぎわいづくり」が、地区全体の活性化に繋げることができればと考えています。</p> <p>(学校教育課) ②照沼小学校の児童数は、今年度89名で、今後の児童数は学区内の就学前の子どもの人数から、同程度で推移することが見込まれています。児童数の減少の対策として、平成30年度から、従来の学区をそのまま、学区外からの就学を認める制度を導入し、小規模校の良さや照沼小学校に魅力を感じる児童に就学の機会を提供します。また、外国語指導講師を専任化し、英語教育の推進など、特色ある学校づくりを行っていきます。</p>

平成29年度村政懇談会 地区自治会質問内容

村松地区自治会

<p>質問事項 (題 目)</p>	<p>常陸那珂港北線の延長計画の現状について</p>
<p>質問要旨 (内 容)</p>	<p>①照沼地区に大きな影響が予想される北線整備の現状と方向性</p>
<p>回答</p>	<p>(都市整備課)</p> <p>平成22年10月に、常陸那珂港インターチェンジから国道245号交差点までの区間が供用開始となり、現在に至っております。</p> <p>国道245号交差点から須和間踏切り付近の常磐線を横断し、国道6号笠松交差点付近に至る、全長6,200m、計画幅員23～36mの都市計画道路として、平成元年に「照沼笠松線」という名称の路線として、都市計画決定されておりますが、事業化には至っていない状況にあります。</p> <p>常陸那珂港の貨物取扱量の増加や大型商業施設の立地による物流や人の交流は、本村や県北内陸部に経済の好循環をもたらすと期待されますことから、本路線の整備が重要と捉えております。</p> <p>このことから、日立市、常陸太田市、東海村の2市1村からなる「日立都市圏幹線道路促進整備期成会」と ひたちなか市、常陸太田市、常陸大宮市、那珂市、大子町、東海村の4市1町1村からなる「茨城県北部幹線道路建設促進協議会」において要望活動を行っております。</p> <p>平成28年度は、7月19日と11月28日に地元選出の国会議員並びに常陸河川国道事務所及び茨城県へ要望活動を行っております。</p> <p>「照沼笠松線」は常磐道などの高速道路網を補完し、広域交通と地域間交流を支える道路として期待されますので、今後も、関係市町村と連携を密にして要望活動を行ってまいります。</p>